

文・理問わず求められる国語力

酒井 邦嘉氏 東京大学大学院教授



ウェブ検索や電子辞書など、教育の極端な電子化は人間力を奪う。時間を惜しまず本を読み、手で書くことで定着を促すという手

間暇かけた教育が必要だ。思考力・判断力・表現力は、全て言語化する力に基づいている。自分の言葉を使い、自分の言葉を基に考えるという力を大切にしないと日本の教育の基盤が揺らいでしまう。

若者たちの間では、LINEやツイッターを使った短い言葉のやりとりが盛んだ。しかし、言葉を通して人の心を知るといふ想像力が

なければ、コミュニケーション力があるとは言えない。そのためにも国語の力は文系・理系を問わず必要。英語教育でも、自分の言葉で心を込めて語れる国語力がなければ、表面的な力しか身に付かないだろう。

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了（理学博士）。2012年より現職。専門は言語脳科学及び脳機能イメージング。